

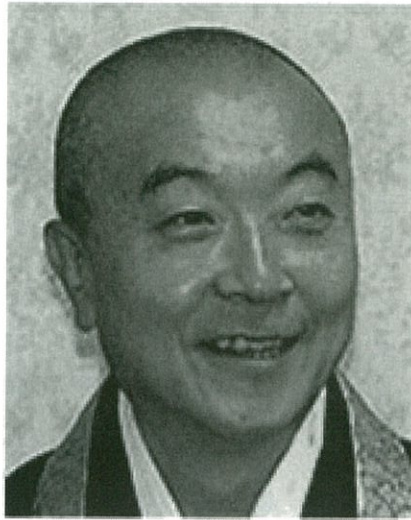


一般社団法人 大日本武徳会

会報 **武徳**

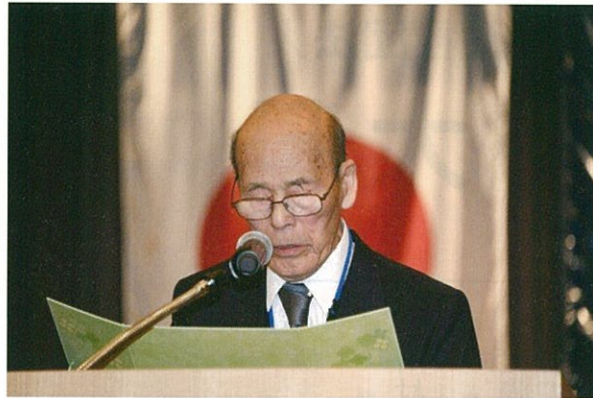
2016.10 秋季号





一般社団法人 大日本武徳会





一般社団法人 大日本武徳会 第五回世界武徳祭

武徳会の理念を問う興廃を懸けた、ここより始まる第一歩20年計画が、範士濱田鉄心先生を要に総会に於いて四年間隔で世界武徳祭を開催することが決定・第一回アメリカ合衆国・第二回日本国・第三回日本国・第四回日本国・第五回日本国・今般会員皆様方のご尽力を戴き見事に盛大に達成することができました。

一般社団法人 大日本武徳会第五回世界武徳祭開会式には畏くも三笠宮の彬子女王殿下のご来駕を賜りました、開会式に於いては素晴らしい おことば を賜り萬感胸に迫るものがありました。

世界各国貴賓の方々からもご祝辞を戴き感激感謝致しております。
日本国 ・ 内閣総理大臣 安倍晋三閣下
イギリス ・ エリザベス女王陛下
アメリカ ・ バラック・オバマ大統領閣下
始め、名士著名な四十氏以上の方々よりご祝辞・激励を頂きました。
ご氏名ご祝辞は、本誌に掲載させて頂きました。

日本の武士道を介して、世界平和に貢献する各国会員を代表する800余名の皆様諸々の万難を廃して一般社団法人大日本武徳会 第五回世界武徳祭に参加頂きました其の熱意とご尽力に心から敬意を表し感謝申し上げます。

大会に協賛・運営・設営にご尽力頂きました、諸賢皆様方に厚くお礼申し上げます。

副総裁 桑原兵充

アメリカ合衆国オバマ大統領のメッセージ

濱田 鉄心

まず、国際部は今回の大会行事がグローバルな観点から評価されるように本大会行事に合わせて世界各国からの政治的、外交的指導者から祝辞もしくはメッセージを得られることを目標に昨年からは各国支部指導者に依頼をしていた。これは容易なことではないことを我々は十分理解していたが、ほとんど全ての参加国にその趣旨目的が伝わり素晴らしい祝辞の数々が送られてきた。これは本会の主催する大会行事が世界各国の指導者に単なるスポーツ演武イベントではないという理解が得られたことであると思う。しかしながらこれらの努力は海外の国際部指導者が本会の趣旨目的に情熱をこめて働いてくれたことにならない。

その中でも最大のチャレンジはホワイトハウスから現職大統領の署名入りメッセージを受理することであった。全く前例のない事案であることと、アメリカ外交政策のプロトコルから判断してもまず不可能に近いことであった。しかし開会式でこのメッセージが披露されたようにこれが実際実現したことは国際部アメリカ武心館道場門下生達の献身的な粘り強い働きがあったからこそである。我々がオバマ大統領の署名入り書簡を手にした時、その感動に震えたのと同時に本会の

歴史は国境を越えて大きく動いたと確信した。おそらく日本国内でこのようなメッセージを受け取った組織団体は皆無であろうと思った。そのメッセージは本大会に参加した全ての人達に感動的なインパクトを与え、本会に対してその努力に敬意を表されたものであった。我々はこのかけがえのない祝辞の恵みに対して感激すると共にオバマ大統領の温かいメッセージに深く感謝したい。

そしてほぼ時を同じくして、そのオバマ大統領が五月二十五、二十六日に伊勢志摩サミットに参加のため訪日された。G7の政治的外交的な成果よりも一番関心と呼んだのは彼自身の歴史的広島訪問であった。オバマ大統領の広島訪問は現職大統領が広島を踏んで自らの理想主義を世界にアピールすることによる歴史的な象徴を意味する感概深いものであった。世界のメディアが注目する中、彼の素晴らしいスピーチで多くの人達が勇気付けられたと確信する。彼の核なき世界実現に対する情熱は広島を訪れることによって、一層意味深くなったことは間違いない。被爆者に対する気持ちも真摯に伝わってきた。オバマ氏自身が作った祈りの折鶴を持参した事にも誠実な心が込められていた。これからも世界の指導者や海外からの多くの人々が広島と長

崎を訪れ世界平和の祈りを捧げることを望みたい。

しかしここから何が始まるかは定かではない。核戦争の地獄の恐怖や脅威は被爆者でないに到底わからない。その恐怖と脅威そのものが永遠に消滅されることが約束されるその日まで人類は訴えていかなければならない。

広島と長崎の歴史的惨劇の事実は人類が直面しなければならぬ永遠の宿命である。それは道義的な根本問題からだけではなく人類の未来的存亡にかかわる命題であるからである。実際、核兵器軍縮の問題と核抑止力維持の問題は両刃の剣であり矛盾した過酷な現実はおバマ大統領のかざす理想主義からあまりにもほど遠い。広島と長崎の悲劇が人類に対する学習すべき警告であることは間違いない。

戦争や無意味な殺戮の歴史は繰り返されてはならない。しかし愚かな人間はそれを繰り返す。またそれを正当化しようとする。目的の為に手段を選ばずと言う利己的正論をかざして無差別の殺戮を繰り返す。約一万年の人類史の中で戦争や紛争が消えた事はない。平和と秩序や自由を勝ち取る為の戦争も幾度となく繰り返されてきた。社会的矛盾論の観点から人類の生存闘争の歴史の中でこれからも戦争が消えることはまずないと言える。しかし純粋な性善説の観点から人間の良心を信じ我々は希望を捨ててはならない。主体性と選択は常に人間にあることを我々は忘れてはならない。オバマ大統領の理想とする核兵器なき世界はいかなる戦争もない世界へと高揚される日がこの地球上に来る事を祈りたい。





歴史的なあゆみ

濱田 鉄心

近年の大日本武徳会の国際的発展は50数年に及ぶ歴史的な歩みであった。それはアメリカ合衆国において始まり、徐々に全世界に広まっていった事は言うまでもない。上の写真は1998年10月、第1回世界武徳祭がアメリカ合衆国バージニア州立オールド・ドミニオン大学において盛大に開催された時のものである。本部からは東伏見慈晃総裁、辻野正勝理事長をはじめとして多くの素晴らしい先生方が参加されアメリカの地において日本武道の神髄を披露した。それ以来、世界武徳祭は4年ごとに日本で開催されることになった。2016年には第5回世界武徳祭が京都旧武徳殿で開催され、その固い侍魂の絆の元、大日本武徳会の誇りと精神を分かち合うために、再びこの武道の聖地である武徳殿に世界20数カ国から多くの有志が集結した。

下の写真は2015年3月、アメリカバージニアビーチ市において大日本武徳会アメリカ支部50周年を記念して、恒久的な世界平和を祈り設置された巨石モニュメントである。遙かアメリカ東海岸において静かに聳える気宇の岩石はただひたすらに我々の日々の努力に対して、とめどない声援を送っている。





第五回世界武徳祭・第五十四回全国武徳祭

前夜祭
記念祝宴会

日時 平成二十八年四月二十八日 午後五時
場所 ウエステイン都ホテル京都 山城の間
主催 一般社団法人大日本武徳会
後援 京都府・京都市・京都新聞

ご 挨拶

一般社団法人大日本武徳会 総裁

東伏見 慈晃



この度、第54回全国武徳祭並びに第5回世界武徳祭が、明治時代創建の由緒ある、旧大日本武徳会武徳殿において盛大に開催されますことは誠に嬉しく慶賀に堪えません。

1998年（平成10年）、第1回世界武徳祭がアメリカ合衆国ノーホーク バージニア州で盛大に開催され、爾来18年の歴史を刻み第5回を迎えることは、感慨無量であります。

当会は1953年（昭和28年）に戦前の大日本武徳会を継承して再開し、現在国内外に3000人の武道家が活発に活動しておりますことは、誠に喜ばしいことであります。

今日まで、多くの献身的な武道家の先生方の文字通り血の滲むご努力の結果、日本国内はもとより、全世界に日本武道が広められました。

「技と精神を磨く」「礼節を尊び徳をもって武を修める」という武徳会の武道の精神が、世界中の多くの方のご理解を得たものと思います。

その結果として、ここに世界20カ国450人の多数の武道家のご参加を得ることができ、日本武道を広められた先生のご努力に敬意を表するとともに、ご参加されました世界の武道家の皆様に心から歓迎と感謝を申し上げます。

また、本大会開催準備のため、本部を中心に全国役員の諸先生方には、大会の企画運営等献身的なご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

今、世界のいたるところで宗教や民族間の紛争が絶えない中で、日本武道に精進され同じ道を歩む人々が相互の信頼と親交を深めあうことにより、世界の平和に貢献できることを信じるものであります。

この大会で得た感動と友情を永く持ち続け、武道の精神と技が益々多くの人に広がり発展していくことを強く願いたします。

ご参加の先生方の道場の益々のご発展と、皆様のご健勝とご多幸を祈念いたします。

ご挨拶

一般社団法人大日本武徳会 代表理事

濱田 鉄心



第5回世界武徳祭並びに第54回全国武徳祭が世界21カ国からの参加者と共に京都旧武徳殿において盛大に開催されます事は慶賀の至りです。

1998年に第1回世界武徳祭がアメリカ合衆国において開催されて以来、4年おきに開催されてきた世界武徳祭は今年で第5回目となり、世界各国からそれぞれに志を持つ武道家が集結し日本の伝統武道を通じて国際親善、国際的な相互理解、世界平和に貢献してきました。さらに過去半世紀に亘り今日まで世界各国で開催されてきた本会主催並びに協賛の国際的な大会行事を含めると一万人以上の人達が参加し多大な成果を生み出してきました。そこで共に分かち合ってきた感動と体験は一生涯の心の宝として残る事と思います。

本大会において日頃鍛錬された日本伝統武道の静と動の美が存分に発揮されその奥深さが理解されると共に相互の武道を通じた国際交流がかけがえのない友愛と絆の礎となることを期待致します。恒久的な武徳のビジョンは武道交流を通じた世界平和の実現にある事から、本大会が高潔な武道精神を啓蒙しその輝かしい歴史の一ページを飾ることを祈ります。

最後に本大会に世界中から著名な方々の祝辞を頂戴し感謝の言葉もございません。本大会の実現に向けてご尽力、ご協力賜りました皆様に対して心から厚くお礼申し上げます。

第五回世界武徳祭ならびに 第五十四回全国武徳祭開会式に参加して

日本古武道 至誠館 渡邊 祥正

平成二十八年四月二十八日、青葉繁れる好季節美しい古都の町並みが広がる京都東山に佇むウエスティン都ホテルに於いて第五回世界武徳祭ならびに第五十四回全国武徳祭開会式が世界二十一カ国から七百有余名の参加者を迎えて盛大に開催されました。

歴史と伝統の大日本武徳会は、崇高なる武士道精神を培う国内外の多くの武道家の歩みによって伝統武道の心と技を受け継ぎ守り継ぎ、数限りない人々の篤い祈りとともに今日まで継承されてまいりました。これまでの地道な活動の意義と効果が広く認知され、このたび世界武徳祭の開催にあたり英国エリザベス女王陛下、アメリカ合衆国大統領バラク・オバマ閣下をはじめとする世界各国の国賓公賓から数多くの御祝福のメッセージを賜りました。

我が日本国におきましても重要な大会であると国会で承認され、殊に開会式には畏くも遙々皇室より三笠宮の彬子女王殿下の御臨席を仰ぎ、日本国内閣総理大臣安倍晋三様をはじめとする多くの方々から御祝辞を賜りました。女王殿下をはじめ御来賓の方々を多くの皆様と共に迎えしお仕え出来ましたことは、奉賛の誠心によるものところのない喜びでございました。

式典では主催者、御来賓の挨拶に続き、選手宣誓、主催者側から大

日本武徳会の運営発展に尽力し、伝統武道の普及に貢献した功労者が表彰されました。

私は、千二百年以前（平安前期）創建の社寺に仕える社家に生を受けました。創建以来、神仏への祈りとともに御国の隆昌は、皇室の繁栄のもとにあると信じ、代々皇室の弥栄を祈り継ぎ語り継いでまいりました。私どもにとりまして女王殿下に御参向賜り拝調叶いますことは、現人神今上天皇陛下への拝謁と同様であり、神明に御奉拝申し上げますことと同様でございます。

この開会式において凶らずも女王殿下の御案内役と選手宣誓の大役を仰せつかりましたことは、誠に恐懼感激の極み、この上ない榮譽を得られ、喜びと重責に身の引き締まる思いでお受け致しました。畏くも女王殿下への拝謁の御許しは、望んでも叶えられないことではなく、ただただ御縁に結ばれて御奉仕させて戴けた有り難さに感慨無量でございました。特別な時間を大日本武徳会の将来を担う世界各国の皆様と宗教、信条、国籍、世代を越えて交流させて戴けましたことは、かけがえのない経験となりました。

女王殿下御前での宣誓の言葉を考えるにあたり、御神前での祝詞奏上と分けて考えることが出来ず、武道に対する思いを言葉で表すこと

は容易ではありませんでした。

選手宣誓では、参加した会員はもとより参加の叶わなかった全ての方々の熱き思いを全身全霊に受けながら、この世界武徳祭が威厳と誇りに満ちた大会となるよう明き淨き直き正しき真心を以て、国際部代表ゼッド・メコ氏と共に言霊込めて力強く宣誓させて戴きました。

日章旗、武徳会旗の下、女王殿下の凛とされた御姿を拝し、その面持は優美で温かく御前に居る自分は嬉しさと緊張で心身が震え、胸がいつぱいで、開会式の間、神々しい幽玄の世界に齎行されているような時空を越えた感覚に包まれ、神の懐に抱かれた至福の瞬間でした。感動的で私の人生史にかつて無い名状し難いものとなりました。

女王殿下より賜りましたご丁寧なお言葉は、とても温かく大日本武徳会において心強い御祝いとなりました。先の熊本を中心とした地震による被害者へのお見舞いと震災支援に対する感謝の意と御礼、そして「今後、日本の武士が繋いできた武道のところで、礼の精神を多くの人々が守り伝えられることを期待しています」とのお言葉を述べられました。礼の精神は人間関係を円滑にし、社会の秩序を保つための人として最も正しい倫であることをお示しく下さいました。御心を心として生きることが、私たちの使命であり、世界中の国々人々が家族のように心を許し、尊び合い、助け合っていく方法なのだと思ふ感銘を受けながら拝聴いたしました。

オバマ大統領の歴史的なメッセージは、言葉の持つ力の大きさを感じるものでした。国際社会の平和や安定への積極的な貢献を期待されているものと強く感じました。会員一人一人がお言葉を胸に刻み、伝統武道の真の継承者として希望に満ちて世界へ羽ばたくことを信じます。この世界武徳祭を通して係わり結ばれ、美しい国日本のこの高潔なるサムライ魂を共有して、未来に生かせる子孫の繁栄のために歴

世の祖先が伝え繋いできた誇りある伝統に則り、伝統武道の文化が息づく、この京都の地からその底知れない活力を世界に波動させることが、精神的伝統武道、日本人の遺伝子の活力を現在そして未来に生かされ甦らせるものと確信いたします。

世界武徳祭の開催に至るまでに、総会をはじめ大会実行委員会、武道執行委員会の各委員会に出席させていただきました。この大会に参加される世界の方々を精いつぱいのおもてなしでお迎えするために、代表理事濱田鉄心先生をはじめとする役員の方々は、あらゆる事例を想定し、全てに対応できるようにきめ細かに調整しておられました。幾度となく調整を図り、迅速な対応を心掛けられ、多くの時間と心を砕いてこられました。そのご努力があつての大会の実現であり、何よりも国際部部长濱田鉄心先生の卓越したご指導のもとキム・ペイラー先生、ジェフ・ウィリアムズ先生をはじめとする統制された国際部の皆様の献身的な活躍があつたからこそその成功裡であつたと実感いたします。大日本武徳会の今日に至る先人たちの歩みに思いを致し、永く重い歴史の一員に連なりなることができた幸せに万感の思いが込み上げてまいりました。この大会において先生方の適切な助言とご協力を賜り、お役目を果たし得たことは誠に有り難く、この伝統を未来へ継ぎ伝えていく者のひとりとして先人たちの思いを受けながらお仕えさせて頂きました。大きな喜びと誇りを感じております。このたびは大会参加の御許しをいただき、心から感謝し御礼申し上げます。

これからも日本の美・武士のこのころ、礼の精神を次の世代へ伝えていかなければならないと一般社団法人大日本武徳会の発展を祈ってやみません。

世界武徳祭記念祝宴会に参加して

至誠館

渡邊

佳代子

京都・東山のウエスティン都ホテル京都において四月二十八日、第五回世界武徳祭開会式ならびに記念祝宴会が世界二十一カ国から七百有余名の参加者を迎えて盛大に開催されました。殊に三笠宮の彬子女王殿下に御参向賜りました。式典に引き続き、記念祝宴会が催され、開宴に際し、女王殿下には参列者が起立の中、御臨席遊ばされました。主催者を代表して東伏見慈晃総裁が開会の式辞を述べられ、山田啓二京都市府知事より御祝辞を賜り、門川大作京都市市長の乾杯の御発声によつて和やかに祝宴が饗されました。途中、辻野正勝元理事長による祝い吟と漢詩、独楽こまによる演奏が賑々しく披露され、この大会を心待ちにしていた多くのご参列の方々から拍手と歓喜の声が湧き立ち、祝宴会場は祝福の大きな慶びに溢れかえりました。

このたびは凶らずも女王殿下御案内役という大役を仰せつかり、身に余る大役であり身の引き締まる思いでお受けいたしました。決して粗相は許されないと何度も入念に習礼を行いました。

開会式当日、ホテル正面玄関にてお迎え申し上げ、貴賓室、式場まで御案内させていただきました。御移動の間は、これ以上ない心の高ぶりを感じつつ、とりわけ特別な精神状態で、感激のうちにも、必死

に周囲を歩ませていただきました。

宴席では、御来賓席にて女王殿下の隣席に着かせていただきました。和服を召された女王殿下には凛とされた御姿の中にも、その面持ちは優美で温かく、夢のようなひとときを過ごさせていただきました。

御歓談のなかで、本大会を前に国際部による青龍殿奉納演武大会が催されたことにふれられ、先平方の演武の素晴らしさに心に残る大会であったことが話題となり、翌日の本大会への御観覧が決まりました。女王殿下への拜謁が叶い、和楽の笑顔が満ち満ちて、共々に祝福の慶びを分かち合うことが出来ましたことは、参加者にとりましても、大日本武徳会にとりましても歴史に残る特別な世界武徳祭となりました。生涯忘れ得ざる経験をさせていただきました。ありがとうございました。

開会式



祝宴会



新たな時代への幕開け

山田 文典

薫風香る武徳殿におきまして、第五回世界武徳祭・第五十四回全国武徳祭が世界から集結した武道家約七三〇人が堂々と平素鍛え上げた武道を披露されましたことは、私にとつて感動の時でありました。

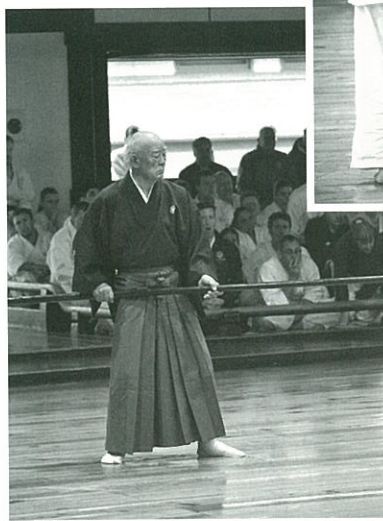
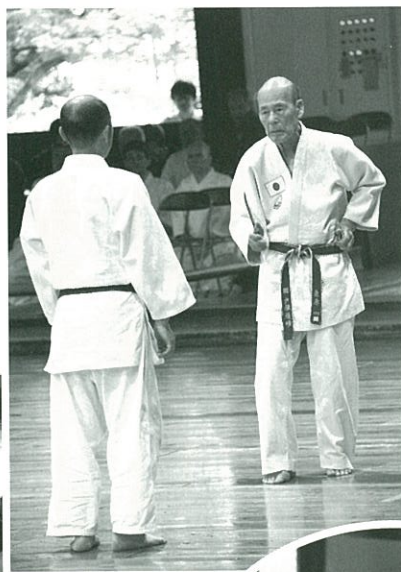
その前日での表彰式では予想にもせんでした理事長賞を頂き身の引き締まる思いであります。ありがとうございました。

今回の武徳祭では、当流派は初めて二団体として参加致しました。故毛利友彦元春宗家からの教えを次世代に繋げるべく門弟がそれぞれの地で道場を構え七箇所を数えるまでに至り、昨年に村上亨師範が一心無双流千葉剣心会を独立され、共存共栄をはかりながら相互に切磋琢磨し、毛利宗家の教えを正確に次の時代へ向かっております。

道場には、ポーランドやイギリス（ウエールズ）の剣士も在籍しており、流暢な日本語もさることながら、その熱心な修行の姿勢は日本人にも勝るとも劣らないものがあります。稽古はもとより所作、礼法に至るまで少しも妥協せず自己への課題は高いものを感じます。今後の大会に出場致しましたら是非彼らの演武にも注目してほしいと思います。

今回で五回を数える世界武徳祭は、当初から参加の顔なじみの国際部武道家も何人かおられ、彼等もそれぞれの国で、新たな入門者を迎

えて更に活発な活動をされていくと思います。濱田鉄心代表理事が、閉会の挨拶の中で、世界武徳祭を当初開催するにあたり当面五回は行おうと決め、五回を達成したと述べておられました。次回の第六回からは、国内外の武道家が育んだ堅い絆をもとに全員が主になって開催することが必要です。今回の世界大会は、五回目ではなく、一般社団法人大日本武徳会の「新たな幕開け」となつたと思います。今回高田寛次先生をはじめ多くの諸先生にご指導頂いたことに深く感謝致します。

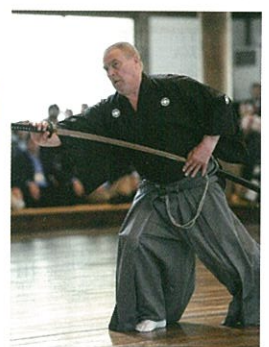
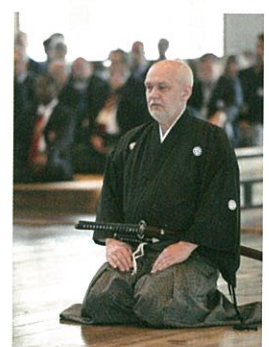


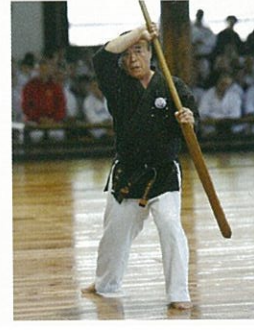


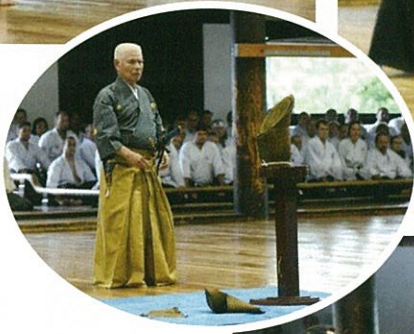
第 五 回 世 界 武 徳 祭
第 五 十 四 回 全 国 武 徳 祭

日時 平成二十八年四月二十九日 午前九時十五分
場所 京都市武道センター・旧武徳殿
主催 一般社団法人大日本武徳会
後援 京都府・京都市・京都新聞

-
- ◇ 大会次第
 - ◇ 第5回 世界武徳祭・
第54回 全国武徳祭 表彰
 - ◇ 大会の様子
 - ◇ 御礼の御挨拶
 - ◇ 受賞者のことば









大会実行委員として

神伝円心流 森内 一藏

春暖の四月二十八日、ウエスティン都ホテルに於いて、第七回武道
 実行委員会が行われ、第五回世界武徳祭・第五十四回全国武徳祭の大
 会役員会に続き、開会式リハーサルと準備を整え、いよいよ開会式が、
 本部はもとより海外からの多数の参加者のもと盛大に始まり、武徳会
 一二年の歴史の中で、大きな栄誉である、三笠宮の彬子女王殿下を
 迎え、日頃の功績を讃え、表彰を受けられた皆様に心よりお祝いを申
 上げます。

そして、記念祝宴会と前夜祭が催され様々な余興で懇親を深める内
 に結びとなりました。

翌、二十九日は、大会実行委員と今回特別に設置された管理運営委
 員の統括役を拝命し大会警備に当りました。

祓いの儀から始まり、国際部の演武・剣道・少年部模範演武と古武
 道演武そして納めの儀から表彰、閉会式と無事、盛會理に素晴らしい
 大会として終える事が出来ました。

本大会をはじめ、運営に携われた役員の方をはじめ事務局にお
 いても、大会までの準備にどれだけの時間と労力を使って奔走されて
 いるのか痛感させられました。

今後とも、諸先生方のご指導、ご鞭撻を賜ります様よろしくお願い

申し上げますとともに、一般社団法人大日本武徳会の益々のご発展を
 ご祈念いたします。

第五回世界武徳祭 第五十四回全国武徳祭大会の 素晴らしい成果

上村 雅彦(宗誠)

「第五回世界武徳祭・第五十四回全国武徳祭」が誠に盛大に開催さ
 れ且つ無事終了できました事を大変喜ばしく思います。

今回の大会は例年の大会には見られない規模と内容でありましたの
 で、大会開催にご尽力されました本部の先生方や事務局の御努力たる
 や計り知れない事でありましたでしょう。本当にお疲れ様でした。

私共に忘れられない体験をさせて頂きました事を心から感謝申し上
 げます。

当日、私も大会実行委の一人としてお役を頂きましたのですが、誠
 に不十分でありましたことをお詫び申し上げます。

今大会の開催により「一般社団法人大日本武徳会」が武道の歴史に
 おける重要な団体である事を、世界中に先人の培ってこられた真の武
 道を伝えるべき大切な責務を果たして来られた確かな証として世界中
 に知らしめることが出来たのではないかと思います。

今大会を経て、不肖私も今後益々の行動を興し武道伝承に粉骨碎身、
 努力させて頂く所存であります。

今後とも、諸先生方のご指導、ご鞭撻を賜ります様よろしくお願い

努力させて頂く所存であります。

表彰委員として

龍濤会 齋木 泰徳

平成二十八年四月二十八日 第五回世界武徳祭並びに第五十四回全国武徳祭開会式が執り行われました。開会式での私の役割は、表彰委員という大役を仰せつかりました。大変貴重な経験をさせていただきありがとうございます。

武徳祭開催前に行われた国際武道講習会にも講師として参加させていただいた折、代表理事濱田鉄心先生より、重要な役割があるとのこと、緊張感が一度に高まりました。

講習会后、旧武徳殿にて代表理事濱田鉄心先生より上村先生と共に開会式での役割の説明を受け、リハーサルを行いました。役割とは、東伏見慈晃総裁をはじめ表彰者の方へ賞状と盾を順に渡すことでした。当日は、会場にて表彰の順と受賞者の確認を事務局と一緒に、準備に不備はないか、また、リハーサルで行った立ち位置の確認を再度行いました。一通り準備が終わり、参加者の方たちも概ね着席され、東伏見慈晃総裁、彬子女王殿下が来場されるのを待つのみとなりました。

その時です、壇上に向かって左側の扉が急に開き強風が吹きこんできました。即ホテルの方に来ていただきましたが、なかなか閉めることができない程でした。数分後、無事何事もなく扉は締められました。

風が吹きこんだ瞬間に会場が清められたような感覚がありました。

開会式が始まり、表彰式に入りました。受賞者の方にとって、受賞するこの一瞬は二度と帰ってきません。壇上に上がり、一切の粗相がないよう努めさせていただきました。

四年に一度の本世界武徳祭に演武者としてだけでなく運営側となつて参加させていただいたことは、貴重な経験と共に、私の武道史に深く刻まれたことは間違いありません。至らぬことも多くあったかと存じますが、引き続きご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

第五回世界武徳祭・ 第五十四回全国武徳祭に寄せて

日本古武道直心会 会長 石本 一平

平成二十八年四月二十九日に第五回世界武徳祭ならびに第五十四回全国武徳祭が開催されました。

旧武徳殿は、戦前の武道専門学校の時代から使用されてきた建築物であり、武道を極めんとし、この地で修練を重ねてきた先人の数多の英霊が宿る地でもあります。今大会は、三笠宮の彬子女王殿下にご臨席賜り、旧武徳殿の玉座に御掛けになられましたことは、特に印象深く、大会に参加された会員のみならず、旧武徳殿に宿る英霊も大変感激されたことと思います。

国際部から多くの会員が参加されましたが、日本国外では、国家対立、宗教対立、民族対立等々、たくさん問題がある中で、それらの対立を乗り越えて、日本の武道が一つの絆として、本大会に参加されたことは、日本人として大変感じるところがありました。

国際部の演武は、それぞれ平素の修練を見ることができ、我々も大変勉強させていただきました。特に術技ではなく、武道に対する真摯な態度と心は大変感じるところがありました。

国内の各団体の演武は、例年になく心のこもった演武をされたと思います。また、皆様のご協力のもと滞りなく進行をすることができました。進行係を仰せつかりました者として紙面をおかりしまして厚く御礼を申し上げます。

今大会は、記念すべき大会のため、数多くの方が各賞を受賞されました。次回の世界武徳祭ならびに全国武徳祭に向けてそれぞれ心技の練磨をし、元気な姿で旧武徳殿にて演武されますように祈念いたします。

今大会の計画・運営にご尽力いただきました、東伏見総裁、桑原副総裁、濱田代表理事をはじめ、役員の方々に厚く御礼を申しあげるとともに、一般社団法人大日本武徳会のさらなる繁栄と会員各位のご健康とご多幸を祈念いたします。

第五回世界武徳祭・ 第五十四回全国武徳祭 大会管理運営委員に任じられて

至誠館道場 平 松男

昨日とは、打って変わっての寒さの中、東出入り口の警備を申しつけられました。

今日は、武徳会にとって最高の来賓の方がお見えになるといふ事で会場全体に緊張感が、漂います。

IDカードのチェック、写真撮影の禁止等注意事項満載

目を見張らせて一時間の持ち時間、寒いとかく寒い

会員の中には、一人だけ受付をして、カード無で入場しようとする人あり、私服の人あり又午後から来る人あり、声かけて、窓からIDカードを貰う様呼びかける。

会場周辺は。国際部の会員が五メートル間隔に立つて目を見張らし一分の隙も無い。

一時間がたった。やっと、交代だ。安堵。又二時間後再び立つ相変わらず寒い。何事なく終了。安堵の瞬間であった。

管理運営に当たられた先生方、国際部の皆さま本当に疲れ様でした。

そして企画、運営の濱田代表理事はじめ大会役員の諸先生方、

第五回世界武徳祭・第五十四回全国武徳祭の大成功おめでとうござります。



一般社団法人 大日本武徳会

高段者審査会

日時 平成二十八年四月二十八日

場所 京都市武道センター・旧武徳殿

主催 一般社団法人 大日本武徳会

高段者審査会

居合道・審査委員長 中田 武太

武徳殿を覆う木々の若葉は萌黄色から徐々に深みを増しつつ、どこまでも澄み切った空の碧さに映え、陽春の季だと言うのに肌寒さを感じずる風が武徳殿内を吹き抜けて、それが却って審査に相応しい凛とした緊張感のある雰囲気醸し出していました。

最初に審査員が審査基準の統一化を図るための協議を行い、項目ごとに審査が統一されるように打ち合わせをしました。受験者に対しては審査項目を正確に伝達し、堂々と胸を張って臨むよう激励し審査会に入りました。今回受験者は居合道六名、空手・古武道七名でした。静寂の武徳殿を独り占めにした受験者は、審査員を前に一名ずつ最初から演武終了まで緊張感のなか、実力一〇〇%を発揮出し切ったかは演武終了後の反省によりますが、自分一人だけの演武を果たせたことに、武徳殿に浸みこんだ先人の汗を感じたことだったろうと想像致しました。結果は、少数の受験者に指摘事項がありました。臨時審査員会を行い指摘事項について協議しました。予め統一化協議の成果で意見交換の末全員合格の上、濱田先生から合格通知書が授与され審査会を終えました。

今回は余裕のある審査会が出来たと思っています。







第五回世界武徳祭記念

国宝青不動明王奉納演武大会

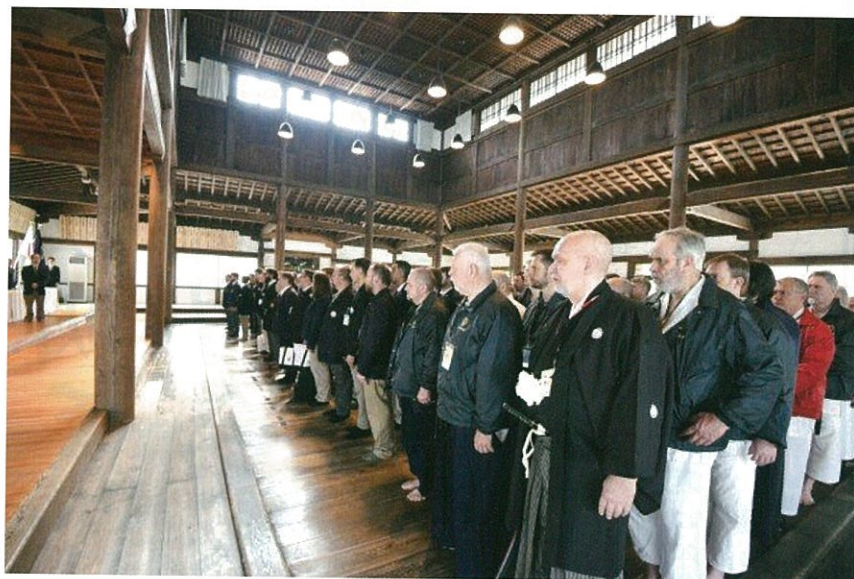
国際武道講習会及び(4/21~27)

国際錬成大会(4/30)

日時…平成二十八年四月二十五日(月) 午前九時十分

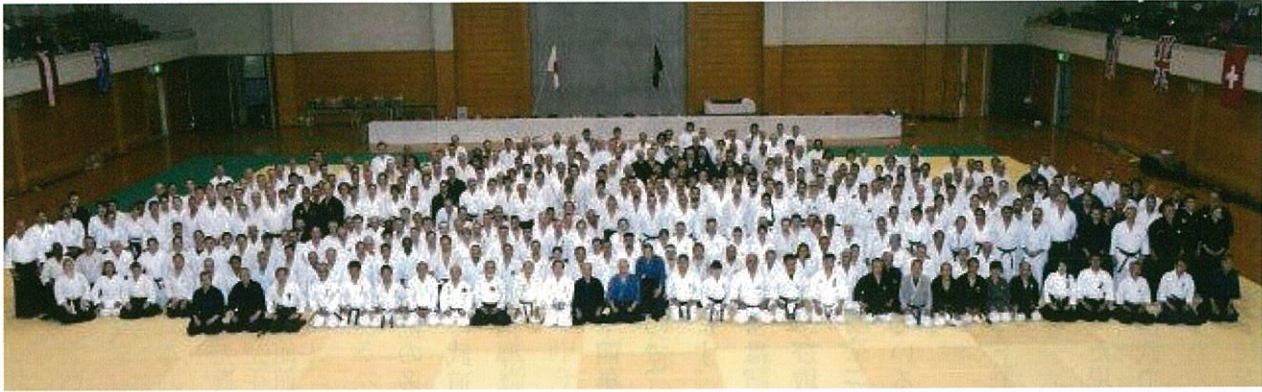
場所…青龍殿

主催…一般社団法人大日本武徳会





国際部武道講習会



不動明王さまは此岸から彼岸に向かった四十九日目に現世の未綱を絶

国際錬成大会



「空手に先手なし」とされ、君子の拳であることを表したのでしよう。

国際武道錬成大会

虚心流居合剣法宗家

範士八段

山本

楠城

平成二十八年四月二十九日の第五回世界武徳祭・第五十四回全国武徳祭に引き続いて、翌三十日国際部からの参加者、二十か国約四五〇人による国際武道錬成大会が行われました。

第五回世界武徳祭・第五十四回全国武徳祭は、エリザベス英女王、オバマ米大統領をはじめ、各国要人からの祝福メッセージを受けるのみならず、三笠宮の彬子女王殿下のご臨席を賜るといふ破格の栄誉にあずかり、盛大かつ肅々と行われましたが、その有終の美を飾るにふさわしく、三十日の国際部による錬成大会では、厳粛な中に熱気と気迫にあふれる演武が多く繰り広げられました。

国歌演奏、武徳会国際部ゆかりの先師の遺影への黙禱、感動的な国旗献上式、肅々と行われる祓いの儀に続いて、合気道、柔術、柔道、居合道、空手道、古武道と、さまざまな武種の演武が、日頃の武技の鍛錬とさらに国際部武道講習会の成果を彷彿させるがごとく繰り広げられました。

各武種において、なかには足運び、腰の座り、目の配り等、武術修練者として、相当の進歩を見せている人がいたのには感心させられま

した。

また、この大会で、特に感銘を受け考えさせられたのは、訪日前に急逝されたフランス国デマユガ範士のための顕彰会として行われた国旗献上式でありました。

荘厳な調べとともに式は肅々と行われ、氏の遺影とともに氏の憧憬される武道の総本山を訪れるべく訪日されたご令嬢が体を震わせながら、フランス国旗を受け取られるとき、武人に対する畏敬の念と尊厳、大日本武徳会の氏への限りなき哀悼の意が会場に満ちたのでした。

西欧の市民主義・個人主義は古くからの歴史的伝統に支えられ、「私」の尊重とともに「公」を大切にします。ひるがえって昨今の日本にはこの市民主義・個人主義を曲解し、「私」のみを尊重し、「公」軽視「伝統」無視のきらいがあります。

日本における良き歴史的伝統を支えるものは伝統的武道文化であり、これによって培われる武徳であるが、これはまた人類・世界に共通のものでありましょう。

そもそも今回の大会へは桑原副総裁、濱田代表理事、本部理事をはじめとして並々ならぬ気迫で取り組んでくれましたが、その有終の美を飾る国際武道錬成大会がかくも、厳粛、整然として成功裡に行われたことに感銘を受けました。

諸先生方、ありがとうございます。大日本武徳会さらには国際部の益々の発展を祈念いたします。



第五回世界武徳祭記念

さよならパーティーレセプション

日時 平成二十八年四月三十日 午後六時半
場所 ウェステイン都ホテル京都 瑞穂の間
主催 一般社団法人大日本武徳会本部・国際部

世界武徳祭記念 さよならパーティーに参加して

日本古武道 至誠館 渡邊 佳代子

平成二十八年四月三十日、第五回世界武徳祭が閉幕し、ウエスティン都ホテル京都において国際部五百有余名の参加のもと世界武徳祭記念さよならパーティーが和やかに饗されました。

世界武徳祭は、国宝青不動明王青龍殿奉納演武大会にはじまり、京都市旧武徳殿での国際部武道講習会。世界武徳祭開会式ならびに記念祝宴会。世界武徳祭ならびに全国武徳祭。国際錬成大会と様々な記念行事が繰り広げられました。世界武徳祭の開催にあたり英国エリザベス女王陛下をはじめアメリカ合衆国バラク・オバマ大統領、我が日本国から安倍晋三内閣総理大臣と国内外の国賓公賓から多くの御祝辞を賜りました。殊に開会式ならびに本大会において皇室より三笠宮の彬子女王殿下の御臨席を仰ぎ、「武士のこころ、礼の精神をこれからも守り伝えられることを期待しています」とのお言葉を賜り、先人たちが守り繋いできた伝統文化武道を次の世代へ向けて傳承していかねければならないと継承者としての使命を与えられたものと感じました。大会当日、肌寒い日にもかかわらず国際部の演武を御観覧ください、選手たちはこの上ない緊張の中にも日頃の修練の成果を遺憾無く発揮され、生涯忘れ得ざる素晴らしい大会となりました。

世界武徳祭を締めくくるとさよならパーティーでは、開宴に先立ち代表理事濱田鉄心先生より、ご参加いただいた皆様に心からの感謝と御

礼のお言葉が述べられ、開会挨拶に続き、国際部の先生方と共に本部代表として乾杯の発声をさせていただきました。

参加者の表情は一樣に柔らかく、それぞれの胸に達成・充実・満足感に和樂の笑顔が満ち満ちて祝福の慶びを分かち合い、相互理解と友好の絆を深めることが出来ました。

常日頃から日本と海外の架け橋として国際友好と交流に努め、日本の伝統文化武道の普及に尽力いただいた国際部に対し、「加藤清正の兜」をモチーフにした記念品などが贈られ、途中、立命館大学合唱団メディックスによる合唱が賑々しく披露され、会場は拍手と歓喜の声が湧き立ち、祝福の大きな慶びに溢れかえりました。

会場の熱気も最高潮に達する中、濱田鉄心先生による閉会の挨拶、万歳三唱によって四月二十五日から六日間にわたる世界武徳祭は興奮冷めやらぬうちに幕が閉じられました。

この歴史に残る特別な世界武徳祭に参加のお許しをただけましたことに心から感謝申し上げます。また、先生方のあたたかいご指導ご支援をいただき、責務を大過なく務めることができましたことにあらためて厚く御礼申し上げます。

今後もしっかりその精進を重ね、一般社団法人大日本武徳会の発展のために微力ながらも努めてまいります所存でございます。

一般社団法人大日本武徳会大阪府支部 平成二十八年住吉大社奉納演武大会開催さる

大阪府支部長 村田 雅人

一般社団法人大日本武徳会大阪府支部住吉大社奉納演武大会が平成二十八年三月二十七日（日）、本部ご後援のもと住吉大社境内、住吉武道館にて開催されました。

〔祓い・玉串奉奠〕

当日早朝、住吉大社神楽殿において演武の無事遂行を祈願し、祓い、神楽舞ならびに副総裁 桑原兵充先生、大阪府支部長 村田雅人による玉串奉奠がなされました。

〔奉納演武大会〕

住吉大社境内住吉武道館に移動し、奉納演武大会が開催されました。今回は剣道場と柔道場の仕切りを取り外し、道場を広く活用致しました。剣道場には国旗と住吉大神の書軸が中央に掲げられ、誠に神々しい雰囲気の中、支部長の開会挨拶に始まり、国旗に礼、君が代斉唱、住吉大神神前に礼、次いで大日本武徳会本部より来賓としてご臨席を賜りました桑原兵充先生、公益財団法人住吉名勝保存会理事長 大阪市会議員 高野伸生先生、同住吉武道館長 森政暉先生の心のこもったご祝辞を賜りました。特に今回はさらなる発展に向けて、新入会員として

弓刀錬心館北川茂先生ご一門、日本古武道誠慧塾樋口友視先生ご一門、素心流居合抜刀術宮園國男先生をお迎えいたしました。また、特別参加として、名城大学体育会居合道部小林信之先生ならびに同部員の皆様、石川県支部井本敏弘先生の特別参加により花を添えて頂きました。

無双直伝英信流七段 尾ノ上克巳先生による立派な祓いの儀が行われました。

〔奉納演武・午前の部〕

・大弓術日置流印西派巻藁体配・北川茂先生ご一門による祓いの意を込めて装束を着装し大弓神事がなされました。先生らの装束演武は小生にとっても初見であり皆様も感銘を受けておられました。立派な花をございます。

・神伝円心流据物斬剣法・森内一藏先生の神事、試斬、ならびにご一門による居合形演武が行われました。毎回、神事を兼ねた至宝演武を賜り感謝に堪えません。また、ご一門の居合錬度も大変高く立派でありました。

・虚心流居合剣法・山本楠城先生により宗家たる立派な形演武が行われました。

・日本剣道形・山本勇先生、杉本安隆先生により日本剣道形が演武されました。

誠に、最高位の先生方の迫真の演武でございました。

・日置流半弓術・北川茂先生ご一門による日置流半弓術が演武されました。実際の半弓による射、張りつめたすばらしい緊張感が漂いました。

・柳生心眼流居合術・小林信之先生による居合術は毎回のことながら

見事な気迫と気合、技も大きく誠に力強い演武でございました。
 ・無双流・居合剣術・太田淳一先生のご指導よろしく、ご一門による各種勢法と哲理が示され、お弟子達の進歩も著しく、外国人女性や青少年のご参加もあり将来の大成に期するところが大有りです。
 ・虚心流居合剣法組太刀・北川茂先生ご一門による組太刀が演武されました。中でも林崎流 左右之次第にも似た詰合が示され、興味深く拝見させて頂きました。お弟子達に至るまで錬度が高く感動致しました。

〔懇親会〕

今回は出席者が多く、一階ロビーを解放、第一研修室、第二研修室に分散致しましたので会議は割愛し、必要事項ならびに質問の受付のみ午後の開始時に伝達、ご対応致しました。

〔奉納演武・午後の部〕

(柔術模範演武)・範士十段 桑原兵充先生、教士七段 高島伸幸先生による心伝流柔術模範演武がなされました。いつものことながら年齢を感じさせない入神の演武でございました。

・心伝流柔術一般部・北野隆雄先生らによるすばらしい心伝流柔術演武がなされました。

・心伝流柔術青少年部・十名を超える青少年、幼年部の演武に真剣さが備わり立派な師のご指導のもと将来の大なるを確信致しました。

・無双直伝英信流居合道・大誠会村田雅人一門、基本技演武を致しました。

・素心流居合抜刀術・宮園國男先生による豪快な試斬がなされました。
 ・無双直伝英信流居合道・尾ノ上克己先生による立派な演武がなされ

ました。

・無双直伝英信流居合兵法・誠慧塾樋口友視先生ご一門による演武がなされました。

規矩正しく立派でございました。

・無双直伝英信流居合術・石川県支部井本敏弘先生による錬度の高い立派な演武がなされました。

〔納めの儀〕

範士八段 無双直伝英信流居合道 村田雅人による納めの儀を行いました。

おわりに、大会の準備や進行、終了後の処理にご協力を頂きました武道館員の皆様方に深く感謝致します。また、事故により当日演武を急遽取りやめられましたがおそれを押しして実行委員としてご参加され佐野晃一先生に深く感謝致します。

〔出席〕

演武参加者 七十一名(一般の部・五十七名、青少年の部・十四名)

一般社団法人大日本武徳会の今後の更なる発展と各位の武徳に栄光あらんことを祈念申し上げます。乱筆乱文ご容赦下さい。



厳島神社世界遺産登録二十周年記念 第二十二回宮島厳島神社奉納古武道演武大会を終えて

広島県支部
大会実行委員長

藤江 成美

この度の大会は、厳島神社世界遺産登録二十周年記念大会と銘打つての奉納演武と成りました。世界遺産登録二十年記念行事の一翼を担って欲しいとの依頼を受けて支部会員一同は、その誉に感激し大会を今まで以上に立派な大会にするべく、考察を重ねました。

支部としてどの様な大会にする事が望ましいかを考え抜き、至った結果は（武人による真の奉納演武）を行なえば良いと言う事で有りました。今回の依頼も昨年の大会の評価を得ての依頼で有りますので、昨年同様に（礼に始まり礼に終わる）大会を更に充実させれば良いと言う考えに至りました。奇を衒う事無く、武道の本道を求め行おうのと言う事で支部は一致団結し、大会準備に勤しましました。一番頭を悩ましたのが、開催時期の事で有りました。七月に大会を行いますのは恐らく初めての事で有ります。この時期の猛暑は、最早尋常では有りません。暑さ対策に皆の知恵を絞りました。朝座屋（控室）は朝一番から神社のご厚意でクーラーを入れて頂ける事に成りました。涼を取れるのは神社内ではこの場しか有りませんので有り難い事でありました。飲食もこの場でしか出来ませんので、飲物も昨年の四倍の量の麦茶、ポカリスエットを用意しました。演武の状況を観て、涼を取る休憩時間も取る事としました。そして苦肉の策として思いついたのが（冷たいオシボリ）で有りました。これだけは何とか祓殿の中での使用をお願いしまして神社の許可を頂く事が出来ました。ある種、之

が一番好評で有ったかもしれません。左程に今回の大会は猛暑の中の大会で有りました。総勢約八十名の大会参加者で有りましたが、誰一人として、待機して貰いました看護師の手を煩わせる者も有りませんでした。看護師さんも少し手持無沙汰で有ったかもしれませんが、主催者としては、ホッと胸を撫で下ろした次第であります。無論怪我人も無く、無事に傷害保険も掛け捨てと成りました。演武内容につきましては、実行委員長講評としてお話ししました様に、お世辞ではなく参加者すべてが（一所懸命）に遣われていた良き奉納演武で有ったと心底感じております。これも又ある種暑さの恩恵で有ったかもしれません。暑さに打ち勝つべく、皆が必死に自身の平素の稽古の儘に夢中に遣った。結果、昨年以上に熱く練れた演武に至ったのではと考えております。神社に向く作法につきましても、受付をした者達が、（昨年以上に身なりがきちんとしていました）との感想を大会後の直会の席で感想を述べておりました。神社関係者に取りましてもこの事は嬉しき事柄で有った様です。観るべき処は観てくれています。今後とも厳島神社の催しとして無くては成らぬ大会と言われる様に精進を重ねて行く決意を固めた広島県支部会員でありました。

次に、木下先生による祓いの儀 あゝ静寂の中で、神掛りのな剣の

第二十二回宮島嚴島神社 奉納古武道大会において

日本戸山流居合道 成田 守

この度の日本三景嚴島神社世界登録二十周年記念第二十二回宮島嚴島神社奉納古武道演武大会は猛暑でありましたが無事に自分の一振が出来たこと、ありがたく感謝しております。

一般社団法人大日本武徳会の皆様と共に本大会で学んだ勝負に勝つことより相手の徳も学び心の糧とされ人間形成とする伝統的な武道であること。

美しい自然を満喫宮島嚴島神社で、全国の剣士との交流を深め、敬意ある演武が出来たことが一番思い出に残る大会になりました。

全国の剣友の皆様と共に相互に切磋琢磨しながら修練して参りたいと思います。

広島県支部会員の皆様、一般社団法人大日本武徳会の益々のご発展と皆様方のご健勝を心からお祈り申し上げます。



団体道場紹介



こばと修童館

こばと修童館館長 中田 武太

明確ではありませんが、先代中田大作先生が、昭和四十七年頃在所の若者を集めて居合、剣道、銃剣道をこばと保育園の一室を借りて教えたのが始まりです。当時は二十人程の人々がいたと思いますが、そのうちたった二人だけ残ったのが指導者師範代の中森茂範さん、長田順一さんです。その後、こばと保育園卒園児を中心に小学一年生〜六年生を対象に道場を開きました。中田浩大、戸田樹の二人はこの道場の卒園児で今では道場を支える指導者であると共に、戸山流、英信流、槍術の達人でもあります。

週一回日曜日の午前中の稽古ですが、道場十訓の唱和から始まりま

- 一、私たちは手ではきものをそろえます
- 二、私たちは心をこめて礼をします

三、私たちは大きな声であいさつをします

四、私たちは時間を守ります

五、私たちは約束を守ります

六、私たちは人に迷惑をかけません

七、私たちはがまんすることを学びます

八、私たちは思いやりの心を持ちます

九、私たちは先生の教えを守り技をみがぎます

十、私たちは一日一歩向上します

私たちは武道を通して強くなります。

この道場十訓は精神訓話の材料として、出来るだけ分かりやすく、興味深く例など入れながら話をすることにしています。

開館以来約四十五年たちましたが、卒園児は一般の大人、道場卒業生合わせて三〇〇人以上を数えます。しかし近年入館希望者が減退して最盛期に比べて半減以下となり、こばと保育園卒園児だけの対象では成り立たなくなってきました。広く枠を超えて積極的に募集する事を優先課題としていきたいと思っています。

昨年青少年武徳祭では念願の団体最優秀賞を遂げることが出来ました。お蔭で世界武徳祭に招かれ多くの外国人が注目している中、子どもたちは、青少年武徳祭以上に緊張し真剣でしたと異口同音に話をしておりました。彼らにとっては最大の刺激となり、夢は大きく広がったことでしょう。これを機に更に道場を発展させたいと思っています。

全国武徳祭に参加して

こばと修童館 小六 九谷 美桜

平成二十八年四月二十六日に京都市武道センター・旧武徳殿で第五十四回全国武徳祭が行われました。私たちこばと修童館は昨年の少年武徳祭で優勝したので、全国武徳祭に行くことが出来ました。朝六時にこばと修童館に集合してバスで武徳殿に行きました。武徳殿に着いて着替えをして待っている、心臓がドキドキしてきましたがみんなと何回か練習をするといつもより何倍も頑張ろうと力がわいてきました。みんなからもやるぞという気合いが伝わってきました。

そして私たちの番です。礼をして入るとき、きんちようから顔が笑ってしまいそうになったけどぐつとこらえました。みんなと心を合わせて、一つ一つの技を丁寧なきめていきました。今までの練習の成果を出すため必死に演武しました。

だけど私はみんなと比べるとふり方も小さいと思うし、ひの音もあまり出ていないから今後はそこを中心に練習をしていこうと思います。やりながら練習より上手にできているなと思いました。

そして、来年も少年武徳祭で優勝して全国武徳祭に行きたいです。

世界日本武徳祭

こばと修童館 小六 中田 花

私は、世界日本武徳祭に参加することが決まった時は、青少年武徳祭をこえられるようにしようと思いました。私は、苦手なところが二つありました。一つ目は、まっすぐに切ることです。その部分を練習すると、まっすぐ切れて、はずじの音が出せるようになりました。二つ目は、のうとうです。のうとうは、さやを見ってしまうことがあるのを気をつけると、すぐに、さやを見ずに入りました。

本番になると、外国人の人達がたくさん見ていたので、きんちようしました。だけど、苦手なところを直したので、その努力をむだにしないようにがんばりました。その気持ちが入ったことで、しつかりえんぶができたので、大成功で、青少年武徳祭をこえられることができました。

次は、今年の青少年武徳祭で、自分の持っている力を発ぎしていきたいです。

大会に出場して

こぼと修童館 小六 廣川 華

私は、外国人がたくさんいる大人の大会に出場して、とてもいい経験になったと思います。私たちは、昨年、全国青少年武徳祭で優勝したので、世界武徳祭に出場することになりました。私は、この大会に出場する前にたくさん練習しました。中学一年生の人も部活をがんばりながら来ているので、私もがんばろうと思いました。私は、何回も練習を重ねて、先生に直さないといけないことを聞きながら、練習しました。私は大会の前にも、体育館で何回も練習しました。本番では、習ったことを生かして、刀の音がするように、まっすぐに切りました。その結果、みなさんからたくさんのはく手をもらうことができましたので私は今まで、がんばって練習してきてよかったと思えました。私はこの大会に出て本当によかったなと思えました。



至誠館道場

無双直伝英信流 至誠館道場 範士八段 藤井 正巳

至誠館道場は、無双直伝英信流居合術を中心に剣術、杖術の修練道場です。道場では、日本の伝統文化、武道の継承、後進の育成に取り組み、初心者から高段者まで親切丁寧に指導しています。

特に、大阪豊中支部においては、豊中市地域公民館の育成団体として青少年の健全育成を図り、地域社会に貢献する活動をしています。青少年部は、武道の稽古は基より礼儀、礼節をはじめ日本の歴史、伝統文化、歳時記などを学び、また、一分間スピーチやディペードなどを行い、豊かな人間性、魅力ある人間力を高めるための指導を行っています。

★活動内容

- 一月 難波神社・初稽古奉納演武
- 一月 少年部・昇級位審査会
- 四月 成人部・昇段位審査会
- 四月 高段者審査会
- 四月 全国武徳祭
- 七月 巖島神社・奉納演武大会





九月 全国青少年武徳祭
 十月 豊中市民体育祭
 十月 平安神宮・奉納演武大会
 十二月 豊中市民文化祭
 道場納会
 地域こども教室「古武道サムライ道場」

【京都本部】

京都府八幡市橋本新石十四の十二

【枚方支部】

大阪府枚方市伊加賀西町五十三の二

枚方市立伊加賀スポーツセンター

毎週土曜日 (成人部) 正午 ～ 十四時

(高段者部) 十四時～十五時半

【豊中支部】

大阪府豊中市緑丘一の一の十九の二二二

豊中市立少路小学校体育館

毎週木曜日 (青少年部) 十六時半～十八時

(成人部) 十八時～十九時半

(高段者部) 十九時半～二十時半

居合道を習い始めて

日本古武道 至誠館 中学三年 野本 真由

私は、四月から居合道を習いはじめました。母から薦められはじめましたが実際にやってみると道衣や袴の着方、居合形など覚えることがたくさんあって、すごく大変だと思いました。九月の全国青少年武徳祭できちんと演武出来るか、とても心配です。

私は、居合道を始めた理由が二つあります。一つ目は、続けることで何か成果があると思うからです。長い間ピアノを習っていました。あまり好きではなかったけれど、ずっと続けていたことで、今学校で

のヴァイオリンの授業も理解することが出来ています。居合を続けていたら、きつと成果が出ると私は思います。二つ目は、生活のリズムが良くなると思っただからです。今まで生活リズムが乱れていました。居合道を通して日頃のダラダラを無くそうと思います。

居合の稽古を始めて数ヶ月経ちました。出来ない事や悔しい事がたくさんありますが、それをバネにして出来るように頑張ります。

「至誠」

至誠館 中学一年 中村 航太

僕が居合いを始めた理由は、刀や和服に興味があり、居合いが格好良くて楽しそうだったからです。いざやってみると、ちょっと難しかったけれど、それが楽しくて、一つ終われば次の段階に進むことができゲーム感覚がありました。

道場の名にもある「至誠」は大切なことだと考えています。「至誠」とは、「この上なく誠実なこと」という意味です。僕が通っている中学校は、「以德報徳」、「至誠勤労」、「分度推譲」の三つの思想を大事にしています。僕は、特に「至誠勤労」という言葉に関心をもっています。意味は、「物事に対して労を惜しまないで、勤め励み大変誠実であること」です。

中学に入学してから帰宅が遅くなるためあまり稽古ができませんが、

早く帰れる日はしっかり稽古をして、日本代表になりたいです。そして、「至誠勤労」を実践して、世界に通用する人間になりたいです。

未来に伝えていきたい古武道

日本古武道 至誠館 中学一年 渡邊 大也

百年後、伝統武道はどうなっているのだろうか。現在でも多くの人に知られているわけではない。僕の習っている古武道は、勝敗ではなく、合戦や護身、実戦を想定した戦術に重きをおいている。今日、現代の柔道や剣道のような勝敗を重視するスポーツ競技化された競技武道が好まれ、今やオリンピックピック競技にまで発展している。スポーツをすることはとても良いことであるが、スポーツ競技、競技武道の普及は、伝統武道の衰退に繋がっている。

百年後、伝統武道が日本のみならず世界に注目され、古武道人口が増えるように言い伝え守り伝えていかなければならないと考えている。

「い合い」

しせいかん 少路小学校二年 中村 周平

ぼくは、坂本りょう馬が大すきです。小さいころから、プラスチックや木の刀をふりまわしてあそんでいました。ほいく園の時、兄がい合いをはじめました。兄を見てかっこいいなと思いました。そして、年長の時にい合いをはじめました。はじめたときは、一番下で、どうぎを一人できることができました。

入ってすぐ、へいあんじんぐうの大会に出してもらいました。少しきんちょうしましたが、まちがわずにできました。その後、しけんをうけて、九きゆうをもらいました。今年も全国大会があり、来年はフランスで大会があるそうです。ぜったいフランスへ行きたいです。そのため、一生けんめい練習します。

二年生になった四月に、中学生と一年生の後はいが入ってきて、先ばいと言われるようになりました。これからは、先ばいや後はいにまけないようにけい古して、体と心をきたえていきたいと思っています。



全国大会にむけて

至誠館 少路小学校 六年 熊野 隆星

全国大会にむけてがんばります

今年のご目標

至誠館 少路小学校 四年 熊野 風起

早くもぎ刀を持ちたいです。

古武道をやり始めて思った事

至誠館 少路小学校 三年 上野 航輝

ぼくは、古武道を始めて、二つ思った事があります。それは「おもしろそう」と「ぜったいにつづけるぞ!」です。今も、「何があってもやめない」と言う、気もちがのこっています。だからぜったいやめません。

ぶ道をはじめて

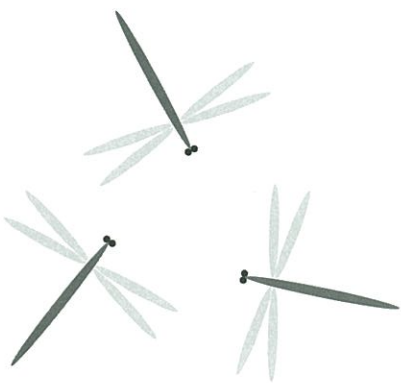
至誠館 少路小学校 三年 渡邊 眞子

はずかしがりやのわたしは、人前ではなせるようになりました。道場のけいこがとても楽しいです。い合刀は長くて重いけど、もっと上手になりたいです。これからもつづけます。

古武道

至誠館 少路小学校 六年 立石 英志朗

狙うのは 世界大会 初出場



古武道

至誠館 少路小学校 五年 立石 壮志朗

古武道で、世界大会、ゆう勝だ

こぶどう

至誠館 少路小学校 一年

ひらやま りゆうせい

かたなをおもいつきりふれるからたのしいです。
へいあんじんぐうにいけるようにがんばります。
チーズがすぎだからフランスにもいききたいです。
こぶどうだいすき。

